



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月21日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金原 利道

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 大野 浩

TEL 0463-82-1311

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	42,465	7.6	1,337	47.8	1,604	44.1	431	46.7
2019年3月期	45,972	1.1	2,561	3.1	2,870	7.3	809	

(注) 包括利益 2020年3月期 135百万円 (%) 2019年3月期 172百万円 (87.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	14.94		1.9	2.8	3.2
2019年3月期	28.01		3.5	5.0	5.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 175百万円 2019年3月期 183百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	56,192	29,485	39.4	765.57
2019年3月期	57,266	30,481	40.2	797.17

(参考) 自己資本 2020年3月期 22,113百万円 2019年3月期 23,025百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,177	5,663	1,703	5,140
2019年3月期	5,850	5,827	803	4,934

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		6.00		6.00	12.00	346	42.8	1.5
2020年3月期		6.00		4.00	10.00	288	66.9	1.3
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では合理的な算定が困難であることから未定とさせていただきます。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	28,978,860 株	2019年3月期	28,978,860 株
期末自己株式数	2020年3月期	94,330 株	2019年3月期	94,129 株
期中平均株式数	2020年3月期	28,884,637 株	2019年3月期	28,884,893 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	24,453	9.6	370		1,218	33.6	1,038	
2019年3月期	27,060	18.1	110		1,835	169.7	388	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	35.96	
2019年3月期	13.45	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	37,292		17,998		48.3		623.13	
2019年3月期	38,429		18,217		47.4		630.69	

(参考) 自己資本 2020年3月期 17,998百万円 2019年3月期 18,217百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であることから記載しておりません。詳細は、7ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 5
(4) 今後の見通し	P. 7
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 8
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 連結貸借対照表	P. 9
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 11
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 15
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 16
(継続企業の前提に関する注記)	P. 16
(会計方針の変更)	P. 16
(追加情報)	P. 16
(セグメント情報等)	P. 17
(1株当たり情報)	P. 20
(重要な後発事象)	P. 20
4. その他	P. 21
(1) 所在地別セグメント	P. 21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの第3四半期までは設備投資の増加や雇用情勢の改善など景気は緩やかながら回復基調にありました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により第4四半期において大幅に下押しされ急速に悪化し、先行きにつきましても極めて厳しい状況が続くことが見込まれます。一方、世界経済は、通商問題の動向やイギリスのEU離脱影響などの不安要素がありながらも全体としては回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により第4四半期において急速に減速しました。先行きにつきましても更なる下振れリスクが懸念されるなど不透明な状況となっています。

また、当社グループが最も影響を受ける自動車業界の市場におきましては、国内市場は底堅く推移する一方で、海外市場は中国が低迷するほか、北米・欧州においても減速感が強まっております。このような状況のなかで拡大した新型コロナウイルス感染症の影響は生産活動の停滞や需要の急減速にまで波及し、足元では極めて厳しい状況となっております。先行きにつきましても不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当社グループの当連結会計年度の経営成績につきましては、国内事業は、中空エンジンバルブやPBWの量産拡大等の増収要因はありましたものの、精密鍛造歯車やバルブリフターの受注減少等により前年度に比べ減収となりました。海外事業は、アジアの一部地域では生産が拡大しましたものの、中国・北米の受注減少等により海外事業全体としては前年度に比べ減収となりました。

この結果、売上高は、424億65百万円（前年度比7.6%減）となりました。

損益面につきましては、国内外事業における受注減少に伴う固定費の圧迫やその他コストの増加等により、営業利益は、13億37百万円（前年度比47.8%減）となりました。経常利益は、為替差損計上額の増加等により、16億4百万円（前年度比44.1%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却に伴い特別利益計上額が増加する一方で、インドおよび国内の固定資産減損損失計上や損失補償金の支払いに伴う特別損失の計上および海外合弁事業の減益等により、4億31百万円（前年度比46.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

国内事業は、新機種の本格量産やグループ内部での中空エンジンバルブの売上増加等の増収要因はありましたものの、欧米・東南アジア向け製品の低調や消費税率引上げに伴う自動車の販売不調に伴う受注減少等により四輪車用エンジンバルブが前年度に比べ減収となりました。二輪車用エンジンバルブはレジャー・中大型向け製品の低調により減収となりました。海外事業は、アジア地域では、インドネシアにおける生産拡大や為替換算の円安効果等の増収要因はありましたものの、中国・タイ・インド・ベトナムにおける受注減少により減収となりました。北米地域・欧州地域では、自動車の販売不調に伴う受注減少や為替換算の影響等により減収となりました。

汎用エンジンバルブは、新機種の立ち上がりや海外向け汎用製品の増加等により増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、新機種の本格量産による効果やタイ・ベトナムにおけるコスト削減等の増収要因はありましたものの、国内外事業における受注減少やコスト増加、中国子会社立ち上げコストの発生等により前年度に比べ減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、327億97百万円（前年度比7.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、11億28百万円（前年度比54.8%減）となりました。

<船用部品>

船用関連製品につきましては、国内向け製品の好調や拡販の成果等により船舶用の組付部品・補給部品の受注は増加しましたものの、海外向け大型発電機用製品が減少し、前年度に比べ減収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、主力製品の受注減少等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、32億72百万円（前年度比6.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、10百万円（前年度比93.7%減）となりました。

<可変動弁・歯車・PBW>

可変動弁につきましては、量産終了に伴い、前年度に比べ減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、生産能力に応じた受注の適正化や海外向け製品の減少等により自動車用製品が前年度に比べ大幅な減収となりました。産業機械用製品は建機・農機向け製品の低調により減収となりました。

PBWにつきましては、当該製品の量産拡大および生産能力増強により大幅な増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、PBWの量産拡大による効果等により黒字化しました。

この結果、当セグメントの売上高は、46億18百万円（前年度比10.6%減）、セグメント利益（営業利益）は、23百万円（前年度はセグメント損失（営業損失）1億98百万円）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、関連会社への生産移管に伴う受注減少等により減収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、前年度と同水準となりました。

農作物につきましては、事業規模は依然小さいものの販路拡大により増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、35億76百万円（前年度比26.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億30百万円（前年度比57.3%増）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高17億99百万円を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

【流動資産】

前連結会計年度に比べて、4億87百万円(2.2%)増加し、222億65百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が5億87百万円減少したものの、商品及び製品が4億49百万円、原材料及び貯蔵品が4億8百万円増加したことによるものであります。

【固定資産】

前連結会計年度に比べて、15億61百万円(4.4%)減少し、339億26百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が14億42百万円減少したことによるものであります。

【流動負債】

前連結会計年度に比べて、20億9百万円(16.1%)減少し、104億81百万円となりました。この主な要因は、その他に含まれるもののうち設備未払金が11億66百万円、支払手形及び買掛金が8億84百万円減少したことによるものであります。

【固定負債】

前連結会計年度に比べて、19億31百万円(13.5%)増加し、162億24百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が2億55百万円、社債が2億44百万円減少したものの、長期借入金が24億87百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は51億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2億6百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により、41億77百万円の資金増加(前連結会計年度は、58億50百万円の資金増加)となりました。これは主に、減価償却費46億41百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により、56億63百万円の資金減少(前連結会計年度は、58億27百万円の資金減少)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出58億92百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により、17億3百万円の資金増加(前連結会計年度は、8億3百万円の資金減少)となりました。これは主に、長期借入れによる収入48億1百万円があった一方、長期借入金の返済による支出18億44百万円があったことや、非支配株主への配当金の支払額7億2百万円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記の通りであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	41.5	42.8	41.8	40.2	39.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	15.5	20.8	18.0	17.4	10.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.0	1.4	1.7	1.9	3.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	24.2	34.7	41.0	41.4	35.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標はいずれも連結ベースの財務数値より算出しています。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

(注3) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象にしております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、経済活動に大きな影響を与え、当社グループの事業で最も影響を受ける自動車業界におきましても、世界規模での減産または生産停止をしております。また、収束後のグローバル各拠点での回復時期及びボリュームにつきましても不透明な状況にあります。

このような状況におきまして、当社グループの2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が困難であることから、予想値の公表を未定といたしました。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び国内企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を継続適用しております。国際財務報告基準の適用につきましては、従来より検討を行っており、国内他社の適用動向等、諸情勢を注視して対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,934,264	5,140,277
受取手形及び売掛金	8,454,016	7,866,294
商品及び製品	3,068,776	3,518,275
仕掛品	1,541,511	1,434,772
原材料及び貯蔵品	2,513,125	2,922,115
その他	1,277,095	1,396,430
貸倒引当金	△10,920	△12,377
流動資産合計	21,777,869	22,265,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,883,594	6,115,671
機械装置及び運搬具（純額）	15,167,166	14,349,855
土地	1,134,231	1,143,293
建設仮勘定	3,733,792	4,003,965
その他（純額）	609,114	612,411
有形固定資産合計	26,527,899	26,225,196
無形固定資産	415,529	593,687
投資その他の資産		
投資有価証券	7,763,165	6,320,319
出資金	930	930
長期貸付金	46,740	50,389
繰延税金資産	497,041	506,160
その他	258,676	251,744
貸倒引当金	△21,539	△21,686
投資その他の資産合計	8,545,014	7,107,856
固定資産合計	35,488,442	33,926,740
資産合計	57,266,312	56,192,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,990,972	3,106,334
短期借入金	2,614,441	2,949,121
1年内償還予定の社債	224,000	244,000
未払法人税等	284,558	146,517
賞与引当金	386,939	380,988
役員賞与引当金	60,050	58,785
その他	4,930,311	3,596,206
流動負債合計	12,491,272	10,481,954
固定負債		
社債	634,000	390,000
長期借入金	7,484,272	9,971,412
繰延税金負債	2,121,429	1,865,615
退職給付に係る負債	3,805,656	3,784,987
その他	247,692	212,665
固定負債合計	14,293,051	16,224,681
負債合計	26,784,324	26,706,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,494,518	4,494,518
利益剰余金	12,622,615	12,707,570
自己株式	△46,492	△46,546
株主資本合計	21,601,185	21,686,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,315,060	2,399,988
繰延ヘッジ損益	△4,352	—
為替換算調整勘定	△1,362,227	△1,541,073
退職給付に係る調整累計額	△523,764	△431,984
その他の包括利益累計額合計	1,424,716	426,930
非支配株主持分	7,456,086	7,372,876
純資産合計	30,481,988	29,485,893
負債純資産合計	57,266,312	56,192,528

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	45,972,075	42,465,346
売上原価	39,558,128	36,698,256
売上総利益	6,413,947	5,767,089
販売費及び一般管理費	3,852,206	4,429,106
営業利益	2,561,740	1,337,983
営業外収益		
受取利息	75,327	61,621
受取配当金	216,203	220,722
持分法による投資利益	183,820	175,585
雑収入	94,569	80,355
営業外収益合計	569,921	538,285
営業外費用		
支払利息	139,806	116,515
為替差損	76,072	132,950
支払手数料	14,987	11,528
雑損失	30,280	10,303
営業外費用合計	261,147	271,297
経常利益	2,870,513	1,604,971
特別利益		
固定資産売却益	10,760	4,074
投資有価証券売却益	—	314,605
特別利益合計	10,760	318,679
特別損失		
固定資産売却損	37,125	8,528
固定資産除却損	78,170	84,827
減損損失	328,837	101,310
損失補償金	—	73,506
特別損失合計	444,133	268,171
税金等調整前当期純利益	2,437,140	1,655,479
法人税、住民税及び事業税	919,669	683,129
法人税等調整額	△85,064	108,129
法人税等合計	834,605	791,259
当期純利益	1,602,535	864,220
非支配株主に帰属する当期純利益	793,376	432,649
親会社株主に帰属する当期純利益	809,159	431,570

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,602,535	864,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△586,691	△915,144
繰延ヘッジ損益	△4,352	4,352
為替換算調整勘定	△785,865	△97,889
退職給付に係る調整額	81,726	87,297
持分法適用会社に対する持分相当額	△135,200	△78,332
その他の包括利益合計	△1,430,384	△999,715
包括利益	172,150	△135,495
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△296,030	△566,214
非支配株主に係る包括利益	468,180	430,719

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,530,543	4,494,518	12,160,075	△46,405	21,138,732
当期変動額					
剰余金の配当			△346,619		△346,619
親会社株主に帰属する当期純利益			809,159		809,159
自己株式の取得				△87	△87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	462,539	△87	462,452
当期末残高	4,530,543	4,494,518	12,622,615	△46,492	21,601,185

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,901,696	—	△782,740	△589,050	2,529,905	7,539,124	31,207,762
当期変動額							
剰余金の配当							△346,619
親会社株主に帰属する当期純利益							809,159
自己株式の取得							△87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△586,635	△4,352	△579,486	65,286	△1,105,189	△83,037	△1,188,227
当期変動額合計	△586,635	△4,352	△579,486	65,286	△1,105,189	△83,037	△725,774
当期末残高	3,315,060	△4,352	△1,362,227	△523,764	1,424,716	7,456,086	30,481,988

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,530,543	4,494,518	12,622,615	△46,492	21,601,185
当期変動額					
剰余金の配当			△346,616		△346,616
親会社株主に帰属する当期純利益			431,570		431,570
自己株式の取得				△54	△54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	84,954	△54	84,900
当期末残高	4,530,543	4,494,518	12,707,570	△46,546	21,686,085

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,315,060	△4,352	△1,362,227	△523,764	1,424,716	7,456,086	30,481,988
当期変動額							
剰余金の配当							△346,616
親会社株主に帰属する当期純利益							431,570
自己株式の取得							△54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△915,072	4,352	△178,845	91,780	△997,785	△83,210	△1,080,995
当期変動額合計	△915,072	4,352	△178,845	91,780	△997,785	△83,210	△996,094
当期末残高	2,399,988	—	△1,541,073	△431,984	426,930	7,372,876	29,485,893

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,437,140	1,655,479
減価償却費	4,713,530	4,641,766
減損損失	328,837	101,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,550	1,767
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	97,672	46,949
受取利息及び受取配当金	△291,530	△282,343
支払利息	139,806	116,515
為替差損益 (△は益)	△576	16,700
持分法による投資損益 (△は益)	△183,820	△175,585
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△314,605
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	104,535	89,281
損失補償金	—	73,506
売上債権の増減額 (△は増加)	△352,522	582,731
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△772,292	△763,332
仕入債務の増減額 (△は減少)	227,322	△870,344
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,984	5,215
その他	△44,592	△290,964
小計	6,409,076	4,634,046
利息及び配当金の受取額	447,412	557,675
利息の支払額	△141,428	△116,961
法人税等の支払額	△864,692	△824,845
損失補償金の支払額	—	△72,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,850,367	4,177,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,879,512	△5,892,190
有形及び無形固定資産の売却による収入	50,563	14,034
投資有価証券の取得による支出	△12,891	△13,437
投資有価証券の売却による収入	—	337,853
貸付けによる支出	△5,940	△14,362
貸付金の回収による収入	10,477	10,963
その他	10,215	△106,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,827,088	△5,663,786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△382,651	△75,043
長期借入れによる収入	1,826,055	4,801,369
長期借入金の返済による支出	△1,509,415	△1,844,620
社債の発行による収入	591,754	—
社債の償還による支出	△182,000	△224,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△88,257	△131,610
非支配株主からの払込みによる収入	357,501	226,859
自己株式の取得による支出	△87	△54
配当金の支払額	△346,235	△346,640
非支配株主への配当金の支払額	△1,070,147	△702,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△803,484	1,703,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△144,389	△11,579
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△924,593	206,013
現金及び現金同等物の期首残高	5,858,858	4,934,264
現金及び現金同等物の期末残高	4,934,264	5,140,277

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表へ与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症による影響を受け、2020年4月7日に日本においても緊急事態宣言が発令されております。これにより当社グループにおいては、主な得意先である自動車メーカー各社の新車需要の低迷に伴い、4月以降に稼働調整を行っており、製品の売上高の減少の影響が生じております。また、海外においても同様の稼働調整を行っております。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年3月期の一定期間にわたり当影響が継続するものとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行なっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、製品別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外向けに、開発、製造、販売及びサービスの提供等の、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供するため、経済的特徴及び製品・サービス等の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「小型エンジンバルブ」、「舶用部品」及び「可変動弁・歯車・P B W」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

事業区分	主 要 製 品
小型エンジンバルブ	乗用車・二輪車・トラック・バス・汎用製品等のエンジンバルブ
舶用部品	船舶用エンジンバルブ他、汎用製品のエンジンバルブ
可変動弁・歯車・P B W	自動車用電磁式連続カム位相可変機構、 自動車・トラック・農業機械・建設機械・産業機械等の精密鍛造歯車、 オートマチックトランスミッション用部品

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準を除き、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	小型エンジ ンバルブ	船用部品	可変動弁 ・歯車 ・PBW	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,169,217	3,486,091	5,167,056	43,822,366	2,149,709	45,972,075	—	45,972,075
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	132,320	—	—	132,320	2,715,308	2,847,628	△2,847,628	—
計	35,301,537	3,486,091	5,167,056	43,954,686	4,865,018	48,819,704	△2,847,628	45,972,075
セグメント利益又は 損失(△)	2,497,641	169,407	△198,754	2,468,294	82,781	2,551,076	10,664	2,561,740
セグメント資産	44,549,840	3,592,962	4,352,944	52,495,747	4,154,771	56,650,519	615,792	57,266,312
その他の項目								
減価償却費	4,027,134	261,137	546,767	4,835,039	3,262	4,838,301	△124,770	4,713,530
特別損失 (減損損失)	267,440	—	—	267,440	61,396	328,837	—	328,837
持分法会社への 投資額	—	—	—	—	1,696,385	1,696,385	—	1,696,385
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	6,167,027	338,182	825,198	7,330,408	64,640	7,395,048	△162,141	7,232,907

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額10,664千円は、セグメント間取引消去167,315千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△156,650千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額615,792千円は、セグメント間取引消去△1,743,077千円、各報告セグメントに配分されない全社資産2,358,870千円であります。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△162,141千円は、セグメント間取引消去△162,141千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	小型エンジ ンバルブ	舶用部品	可変動弁 ・歯車 ・PBW	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,797,641	3,272,356	4,618,831	40,688,829	1,776,516	42,465,346	—	42,465,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1,799,886	1,799,886	△1,799,886	—
計	32,797,641	3,272,356	4,618,831	40,688,829	3,576,402	44,265,232	△1,799,886	42,465,346
セグメント利益	1,128,825	10,640	23,138	1,162,604	130,228	1,292,832	45,151	1,337,983
セグメント資産	44,006,770	3,640,777	4,315,633	51,963,181	3,428,722	55,391,903	800,625	56,192,528
その他の項目								
減価償却費	3,923,763	280,563	555,593	4,759,920	—	4,759,920	△118,154	4,641,766
特別損失 (減損損失)	97,853	—	—	97,853	—	97,853	3,457	101,310
損失補償金	—	73,506	—	73,506	—	73,506	—	73,506
持分法会社への投資額	—	—	—	—	1,546,635	1,546,635	—	1,546,635
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,094,447	218,264	630,872	4,943,584	—	4,943,584	△190,483	4,753,100

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(4) セグメント利益の調整額45,151千円は、セグメント間取引消去209,978千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△164,827千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

(5) セグメント資産の調整額800,625千円は、セグメント間取引消去△1,822,063千円、各報告セグメントに配分されない全社資産2,622,688千円であります。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。

(6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△190,483千円は、セグメント間取引消去△190,483千円あります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	797円17銭	765円57銭
1株当たり当期純利益金額	28円1銭	14円94銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	809,159	431,570
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	809,159	431,570
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,884	28,884

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	30,481,988	29,485,893
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	7,456,086	7,372,876
(うち非支配株主持分(千円))	(7,456,086)	(7,372,876)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	23,025,901	22,113,016
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	28,884	28,884

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	23,568,048	14,837,130	6,617,898	948,997	45,972,075	—	45,972,075
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	3,775,178	1,049,166	18,883	—	4,843,228	△4,843,228	—
計	27,343,226	15,886,297	6,636,781	948,997	50,815,304	△4,843,228	45,972,075
営業利益	230,242	2,039,091	300,275	45,216	2,614,825	△53,085	2,561,740

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…台湾、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド

北米…アメリカ

欧州…ポーランド

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,698,805	14,151,363	5,741,395	873,781	42,465,346	—	42,465,346
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	3,014,063	1,087,193	5,451	973	4,107,682	△4,107,682	—
計	24,712,868	15,238,557	5,746,847	874,755	46,573,028	△4,107,682	42,465,346
営業利益又は 営業損失(△)	△239,241	1,438,059	△89,458	18,999	1,128,357	209,626	1,337,983

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…台湾、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド

北米…アメリカ

欧州…ポーランド